

# MITSUBISHI

電動給気シャッター

形名

P-18QDL4-BL ①

P-21QDL4-BL ①

取付工事・取扱説明書

0308872HG1803

優良住宅部品「BL」認定

この電動給気シャッターは気密性の高い建物で汚れた空気を排出するときに必要な新鮮な外気を取り入れるためのもので、レンジフードファンなどの換気扇に連動させて使用します。

- 取付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
- 取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、同封の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」ととも保管してください。

## 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

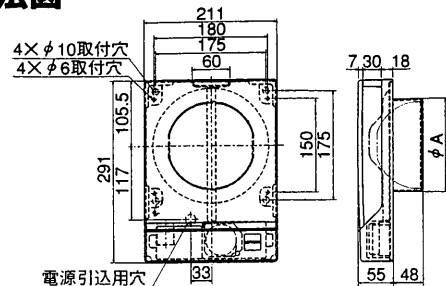
● 図記号の意味は次のとおりです。



取付時	<p><b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電動給気シャッターがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように取付ける〔電気設備の技術基準 解釈 第167条3項（接続されていると漏電した場合、火災の原因になります）〕</li> <li>● 漏電しゃ断器を取付ける（故障や漏電のときショートや感電のおそれがあります）</li> <li>● アースを確実に取付ける（取付けないと故障や漏電のときに感電することがあります）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交流100Vを使用する（交流100V以外を使用すると火災や感電の原因になります）</li> </ul>
取付時・使用時	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製品を水につけたり、水をかけたりしない（ショートや感電のおそれがあります）</li> <li>● 改造や必要以上の分解はしない（火災・感電・けがの原因になります）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る（感電やけがをすることがあります）</li> </ul>

取付時	<p><b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 直接炎があたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない（火災のおそれがあります）</li> <li>● 浴室など温気が多い場所には取付けない（感電および故障の原因となります）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に（落下によりけがをすることがあります）</li> <li>● 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に（接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります）</li> <li>● 本体の取付位置はガス機器の設備基準に従って炎の立消え等ガス機器への悪影響のない位置で室内が良く換気される位置とする（炎の立消え等で一酸化炭素中毒を起こすことがあります）</li> </ul>
取付時・使用時	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取付け、お手入れの際は手袋を着用する（着用しないとけがをすることがあります）</li> <li>● 部品の取付けは確実に（落下によりけがをすることがあります）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体に異常な振動が発生した場合は使用しない（本体・部品の落下によりけがをすることがあります）</li> <li>● 運転中は危険ですから、シャッターの中に指や物を入れない（けがのおそれがあります）</li> <li>● 長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る（絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります）</li> </ul>

## 外形寸法図



形名	A	適用パイプ口径
P-18QDL4-BL	φ148	φ150
P-21QDL4-BL	φ172	φ175

付属部品

表示シール……………1枚

台所換気扇連動給気口

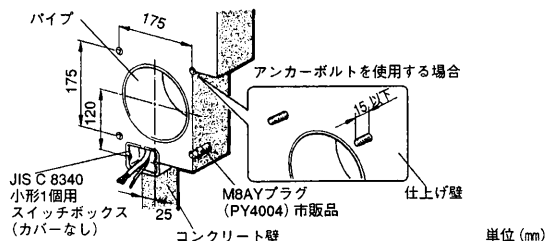
単位 (mm)

## 取付方法

取付け面の材質により取付け前の準備が異なりますので下記により取付け準備を行ってください。なお、石こうボードや薄壁に木ネジで製品を直接固定しないでください。（製品が落下します）本体の取付位置は、天井と側面の壁から70mm以上離してください。

### 一取付け前の準備一

#### コンクリート壁の場合

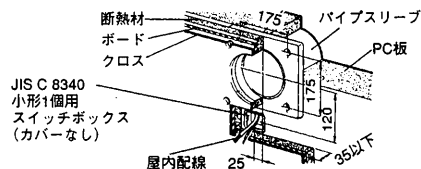


1. 壁にパイプ（スパイラル管など）用の穴をあけパイプを埋め込み、モルタルなどで固定する。
2. 4か所の取付位置にφ14深さ4.7mmの穴をあけ、市販のM8AYプラグ（PY4004）を挿入し、打ち込む。
3. 屋内配線をJIS C 8340小形1個用スイッチボックス（カバーなし）を介して端子台に接続できるように引き込む。

#### お願い

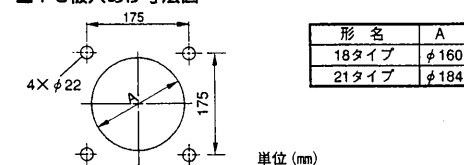
- パイプは室内側壁面から出ないように固定してください。
- アンカーボルトを用いて施工する際、仕上げ壁面から15mm以上突出しないでください。（室内側換気口が取付けできなくなります）

#### 別売のパイプスリーブ（P-18、21QPS）を用いた場合……PC板に施工する際に便利です。

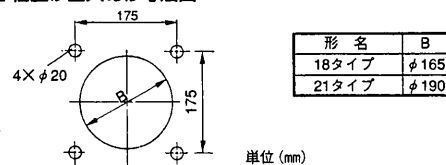


1. パイプスリーブに付属の取付説明書によりパイプスリーブをPC板に打ち込む。穴あけ寸法は、PC板穴あけ寸法図を参照します。
2. JIS C 8340小形1個用スイッチボックスを介して屋内配線を引き込む。
3. 壁面を仕上げる。寸法は仕上げ壁穴あけ寸法図を参照します。

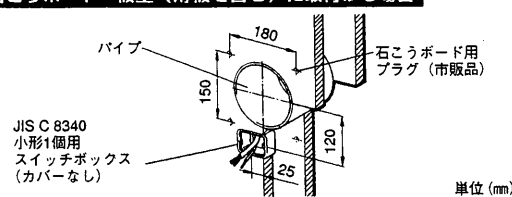
#### PC板穴あけ寸法図



#### 仕上げ壁穴あけ寸法図



#### 石こうボード・板壁（薄壁を含む）に取付ける場合



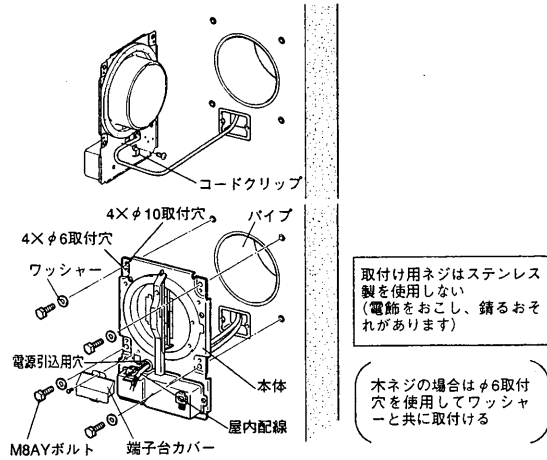
1. コンクリート壁と同様取付位置にパイプを固定する。
2. 4か所の取付位置に市販の石こうボード用プラグ（市販品）を取付ける。
3. 屋内配線をJIS C 8340小形1個用スイッチボックス（カバーなし）を介して端子台に接続できるように引き込む。

#### お願い

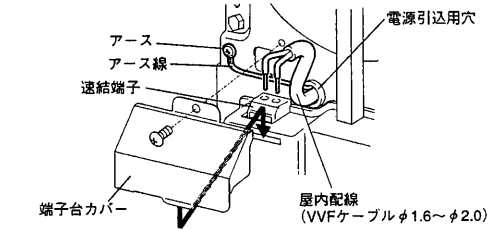
- 板壁に製品を直接取付ける場合、取付面板厚が20mm以上になるよう補強板（お客さま手配）を取付けてください。

## 取付方法 つづき

### 一本体の取付け



### 電気工事

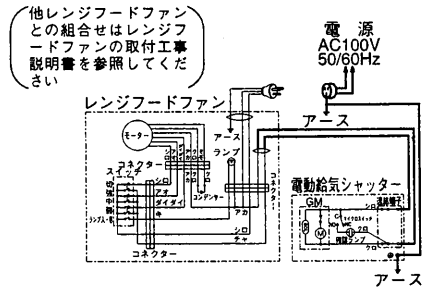


### 結線図

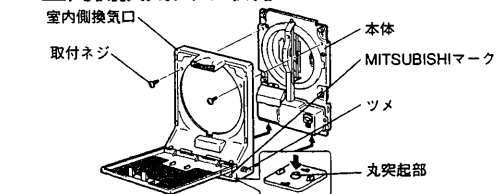
■ 太線部分の結線を行う。

#### レンジフードファンの場合 KL-BLの場合

- レンジフードファンの回転と同時にシャッターが開く。



### 一室内側換気口の取付け



1. 屋外配線を製品裏面のコードクリップで固定する。

#### コンクリート壁の場合

本体の電源引込用穴に屋内配線を通し、本体をパイプに差し込みφ10取付穴を用いて市販のM8AYボルト(PY4004)にて固定する。

#### お願い

- 製品をナットで固定する場合はダブルナットなどによりゆるみ止めを施してください。

#### 別売のパイプスリーブ(P-18, 21 QPS)を用いた場合

本体の電源引込用穴に屋内配線を通し、本体をパイプに差し込み市販のM6ボルトにてφ10取付穴を用いてワッシャーを介して固定する。

#### 板壁の場合

本体の電源引込用穴に屋内配線を通し本体をパイプに差し込み市販の本ネジ(4.1×2.0以上)にてφ6取付穴を用いてワッシャーを介して固定する。

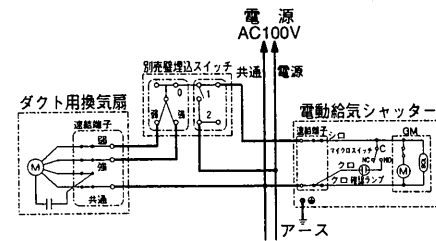
2. 端子台カバーをはずす。
3. 屋内配線(VVFケーブルφ1.6~φ2.0・皮ムキ長さ15mm)を速結端子に接続する。
  - レンジフードファンやダクト用換気扇と連動する場合は結線図を参照して結線をする。
4. アース端子を利用して必ずアース工事を行う。
5. 端子台カバーを元通り取付ける。

#### お願い

- 屋内配線は端子台カバーが取付けられるようタルミなどを最小限としてください。

#### ダクト用換気扇の場合

- ダクト用換気扇の回転と同時にシャッターが開く。



1. 下側のツメ2か所を本体に引っ掛ける。
2. 上側2か所を取付ネジで本体に固定する。

#### メモ

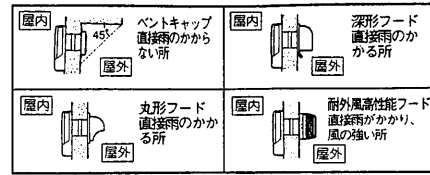
MITSUBISHIマークが正面を向かないときは裏面の突起部を押しはずします。製品取付方向に合わせ再度取付けます。

#### お願い

- 必要により付属の表示シールを表示が見やすいように製品に貼り付けてください。

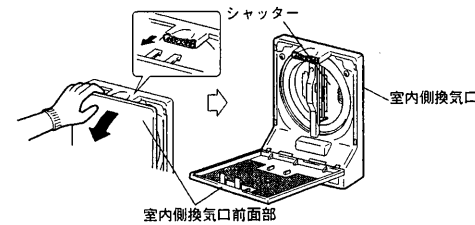
## 取付方法 つづき

### 一屋外フードの取付け



## お手入れ

- 室内側換気口・シャッターが汚れてきたら中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取ります。



屋外側には鳥、虫などの侵入を防ぐためのフード(システム部材)などを取付けてください。また雨水が直接かかる箇所では、深形フードや耐外風高性能フード(P-18KVタイプ)を使用してください。

#### お願い

- この電動給気シャッターを防火ダンパーとして使用することはできません。防火区画内に取付ける場合は外壁に防火ダンパー(システム部材)を取付けてください。

1. 図のように室内側換気口前面部の上部に手をかけ、手前に引いて開ける。(室内側換気口前面部ははずしません)
2. 室内側換気口の汚れをふき取る。
3. 元通り室内側換気口前面部を閉める。

#### お願い

- お手入れに下記の溶剤・洗剤等を使用しないでください。シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンジー等けんま材入りの洗剤(変質・変色する原因になります)
- 室内側換気口は取りはずさないでください。
- お手入れの際シャッター部に触らないでください。(故障の原因になります)

## アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

#### 補修用性能部品の保有期間

当社は、この電動給気シャッターの補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。ただし、その後4年間は補修用同種部品または交換可能な同種製品などを供給します。

#### 優良住宅部品(BL)について

この電動給気シャッターは(財)ベターリビングにより優良住宅部品の認定を受けたもので、BLマーク証紙を貼り付けてあります。優良住宅部品が住宅に据え付けられ引き渡されたのち2年以内にメーカー責任不良が発生した場合は、優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。また、下記特定部分については優良住宅部品が住宅に据え付けられたのち、5年以内にメーカー責任不良が発生した場合は優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。

特定部分	室内側換気口 (ただし、モーター等電動機構部品、除く)
------	--------------------------------

**三菱電機株式会社**

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

ただし、下記の事項に係る修理は無償修理保証の対象から除きます。

1. 住宅用途以外で使用した場合の不具合
2. ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
3. メーカーが定める施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4. 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の不具合
5. 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
6. ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
7. 火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
8. 消耗品の消耗に起因する不具合
9. 指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合